

(第8号)

2014年11月15日

民権連通信

民主主義と人権を守る府民連合（民権連）

〒556-0024 大阪市浪速区塩草 2-2-31

TEL (06) 6568-2031 fax (06) 6568-2047

「山崎勝さんを偲ぶ集い」開かれる！！



10月19日、たかつガーデン（大阪府教育会館）において大阪市学校園教職員組合初代委員長の山崎勝さんを偲ぶ集いが開かれました。山崎勝さんは、1969年解同大阪府連が引き起こした「矢田事件」で、大阪市教組執行部が解同の圧力に屈服し、11人の組合員の権利停止処分を強行した際、本部執行委員としてただ一人反対を貫かれました。その後71年1月に開かれた大阪市教組臨時大会において、山崎さん提案

の権利停止即時解除の修正案が可決、直後の市教組本部役員選挙で教職員の大きな支持のもと大阪市教組書記次長に当選、73年より6期書記長を務められました。

89年11月大阪市学校園教職員組合の結成にはその先頭に立ち、初代委員長として活躍されました。90年代に入って大阪市退職教職員の会を結成。ご勇退後、大阪退職教職員の会および近畿ブロック退職教職員の会の事務局長に就任されました。惜しくも今年の3月25日享年83才でご逝去されました。当日の「偲ぶ集い」には、木下浄先生をはじめ130名を越える人たちが参加、在りし日の山崎勝さんを偲びました。

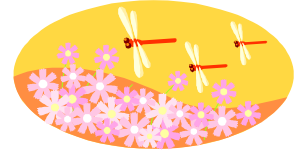
<偲ぶ言葉から>

矢田問題以来、同和推進校で17年間闘い続けてこられたのは、山崎勝という砦があったからこそ！偉大な導きの星でありました。戦後史の大きな曲がり角の今だからこそ、山崎さんの歩いてこられた道を確認に自分の内に刻みたい。

保育所途中入所、「皆保育」廃止 来年度から（東大阪市）

10月30日、東大阪市保育室より民権連長瀬支部に、「N・A地域において実施してきた0歳児を対象にした年度内3回の途中入所と「皆保育」は今年度を持って廃止し、平成27年度4月より保育所入所は一般と同じ4月だけとなります。入所措置についても一般と同じ点数制となります」との連絡がありました。これで地区内優先、「皆保育」方針が廃止され、来年度から保育所入所選考基準に基づく入所が行われることになりました。

これまで東大阪市では、地区内優先、「皆保育」は慣例となっており、その基準は市文書に規定もなく歴代担当者が入所にあたって「地区協」からの名簿にもとづいて選考を行ってきたもので、「ヤミ選考」と批判され、その是正が求められていたものです。



八尾市長への申し入れ（10／30）

10月30日、民権連は田中誠太八尾市長に「人権に関する市民意識調査」についての要望書を提出し、話し合いの場を持つよう要望しました。

2014年10月30日

八尾市長 田中誠太様

民主主義と人権を守る府民連合
委員長 谷口 正暁

「平成26年度 人権に関する市民意識調査」についての要望書

<要望事項>

「平成26年度 人権に関する意識調査」について民権連との話し合いの場を持っていただきたい。

<要望の趣旨>

平成26年度、八尾市が実施される二つの「意識調査」は以下にのべる通り、部落問題の解決にとって重大な問題をはらんでいると考えます。

第一に、「人権についての市民意識調査」についてはすでに市民に調査票を送付されたと聞いていますが、9月26日の人権政策課との話し合いの席でも指摘した通り、設問21で、親しくしている人の中に「5、同和地区出身者」と明記され、市民に○をつけることを求めています。「同和地区出身者」とはいかなる人をさしているのか、八尾市の考えを明らかにしていただきたい。

第二に、「桂中学校区及び高美中学校区住民を対象にした意識調査」について、なぜ二つの中学校区住民なのか、その目的、調査項目等、具体的な調査内容を明らかにしていただきたい。

八尾市が実施する二つの「意識調査」が、「同和地区」「同和地区住民」がいまもなお存在するかのような認識で実施されるのであれば、部落問題解決の今日の到達点を踏まえ、八尾市自ら市民への重大な人権侵害をおかすものと私たちは考えます。よって早急に民権連との話し合いの場を持っていただくことを要望いたします。

八鹿高校事件40周年記念集会（11／24）

1974年11月22日、但馬地域での解同行動隊は八鹿高校教職員66名をおそい13時間にわたり集団暴行、56名に重軽傷をおわせた。この事件が起きて今年で40年。現地で記念集会が開かれます。

◇日時 11月24日（月）午後2時から

◇場所 兵庫県立但馬長寿の郷「郷ホール」（079-662-8456）

記念行事は、講演「八鹿高校事件と『希望』」吉開那津子（作家）、「八鹿裁判闘争の今日的意義」前田貞夫（弁護士）などが行われます。